

「エビセン」

「これエビセン」ですとおみやげを

もう一つ

柵へおいてしばらくしたうみやうと

箱の蓋をあけていた

包装紙のまんまが涼しうなうで

あけてみたら期待したエビセンではない

これが「エビセン」なの？

白い生地にかざうらな「お」が三つぶ

もうひとつは「金魚玉」とわいてあり

小つぶの「金魚玉」がいくつかあり

三つ目は「エビセン」とヤトと想像出来た

これは特別の「エビセン」だ

私の知っていた「エビセン」は何種あるか

「エビヤリ」が「お」ちや「お」ちやに入っている

おみやげには「うらなひ」

いた「お」は「エビセン」は「エビセン」の中の

特別なものと「お」は「お」

えろん「お」もこれなら「お」も「お」

えると「お」してくれたのだ

見ていゝだけ
やさしさ
涼しき水

つをわづてくる

いいものをもらった

私の知っていたいる
エピソード
こたがエピソード

と聞いていた本

知らず知らず
エピソードがある

他のものも同じと
いえ

自分の知っていた
ものを
基準に考えるのは

まちがひ
ちがひ
たすのもある

考えると同じ

もつとちがひ
た
考える

よりすばらしい
考えはある

もう一つ
エピソード
おしえてくれた

本当に
ありかとう

2024
4/27